

元NHKアナウンサー 山田誠浩さん 来たる！
読書の秋、耳で読む読書を体験してみませんか

荒生田塾

第一回 荒生田塾朗読会

10月10日(土) 午後3時より(2時半開場)

山田誠浩 朗読会

入場無料！(カンパあり)

「十二番目の天使」

チャリティ朗読会

会場/東八幡キリスト教会 北九州市八幡東区荒生田 2-1-40

世界の人々が涙した、
オグ・マンディーノの傑作！
(坂本貢一訳、求龍堂)



やまだ よしひろ
山田 誠浩

1940年京都市生まれ。1963年NHKに入局。37年間現役のアナウンサーとして、大河ドラマ「おんな太閤記」、NHKスペシャル「銀河宇宙オデッセイ」などのナレーション、「私の本棚」「ラジオ文芸館」の朗読、「ラジオ深夜便」アンカーなどをつとめた。
2000年からはフリーランスアナウンサーとして、「NHKスペシャル」「このころの時代」「知るを楽しむ」「視覚障害者のみなさんへ」など、主にNHKの番組のナレーター、インタビュアー、キャスターとして活躍。
また、ラジオ第一の朗読番組「ラジオ文芸館」では、13年にわたって演出・語りを担当した。
2002年から、「山田誠浩 朗読への招待」を定期的で開催する他、全国のホール、ホテルなどで公演を行っている。

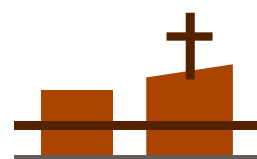
10月11日(日) 午前10時半より

キリスト教講演会(礼拝)

講師: 奥田知志牧師(当教会牧師)

- ※いずれも入場無料ですが、カンパ、献金を受け付けます。
- ※席に限りがあるので、お早めにお越しください。
- ※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

教会エッセイ「総理も前線に行つてはいけない」戦争に反対する』というところ」
牧師 奥田知志
自民党の武藤という衆議院議員が安保法案に反対する学生団体「SEALDs(シールズ)」について「彼ら彼女らの主張は『だって戦争に行きたくないじゃん』という自分中心、極端な利己的思考」と批判した。
政府は社会保障費を削減し「自己責任でやれ」と言ってきた。一方で国権の発動である戦争事態(準備)においては個人の思いを「利己的だ」と批判し「滅私奉公」を迫る。「公」とは何か? 自己責任前提の「小さな政府」は、社会保障を細らせ、貧困や格差を拡大させた。その結果、戦争遂行可能な「大きな政府」が誕生する。
「利己的思考」発言への反論が相次いでいる。当然だと思う。でも、気になる部分もある。
大阪の橋下市長は「そんなに威勢の良いことを言うなら、お前がまず行け」と批判した。いつもながら「威勢がいいやつだなあ」と思う。
しかし、この論は戦争法案反対の人々の中にこそある。
「安倍さんや、石破(茂)さんや、麻生(太郎)さんにしても、みなさん、言い出しつべの責任を取っていただいて、まずご自分が、年齢に関係なく、鉄砲を担いで、鉄兜をかぶって、まず第一線に出ていただく。それから、お子さんも、孫も、きょうだいも、それから娘さんのボーイフレンドも、全部一緒に連れ立って第一線に、まず最初に出ていただく。もちろん一兵卒でね」。これは美輪明宏さんのことば。この人いいなあ。
「いざ、戦争になったら武藤議員自身は、一兵卒として戦地の最前線に行く覚悟はあるのか。(中略)戦争を煽り、戦争を引き起こした人間たちは、自分たちだけは安全なところにおいて、多くの民間人や兵士が死亡しても、その責任を取ることはない。(中略)学生相手に偉そうなことを言う前にご自身の覚悟を見せてはいかがだろうか。」「フリージャーナリストの志葉玲さんのことば。お二人にアアメエだ！だけども、引つかかる。
今から三十年以上前、一九八二年に発売された雑誌「広告批評」の「反戦特集」に掲載されたポスターが当時話題となった。作ったのはコピーライター糸井重里さん。銃を担いだ戦闘服姿の二人の男が手を差し伸べてこう語りかける。「まず、総理から前線へ」。政治家が無責任に国民のいのちをもてあそぶ事に対する強烈な批判が伺える。さすがコラムニストの天野祐吉さんが主宰された「広告批評」だけある。今回の戦争法案をめぐる議論の中で、このコピーが再び注目されている。でも、違うなあ。
「戦争反対」と本気で言うなら、「誰ひとり戦場に行つてはいけない」と言うべきではないか。安倍総理も武藤議員も戦争に行つてはならないと思う。なぜなら、僕は戦争に反対だからだ。「権力者は、言うだけで絶対に戦場に行かない」ことは事実だろう。だからあの「コピー」には力がある。しかし、それでも「まず、あなたが前線へ」と言つてはいけない。
大体、もし「じゃあ僕、行きます」と武藤くんが言い出したらどうするの? そもそも国民国家の戦争は、戦国時代の戦(いくさ)のように雇われ兵が褒美目当てでやるものではない。情報操作や教育の中で煽動され、洗脳された国民が「母国を守る。家族を守る」と「嘘でも自分の意思」を持って戦場に行くことによって成立する。そこには一定の「私の意思」がある。だから「戦争に行きたくない」という個人の意思を尊重しなければならぬ」と言うだけではダメだと思つた。
一方「僕は戦争に行きたい」「戦争に行きたくてふるふる」人が必ず登場するからだ。
ただ、「戦争に行きたくてふるふる」人の意思を尊重することはあり得ない。なぜならば、その意思を尊重することで、誰か他者が殺されるからだ。当然、殺される側の意思は尊重されないことになる。どう頑張つても、すべての人(の意思)を尊重することが出来ないのが戦争なのだ。
「戦争そのものが悪だ」という事実が大事なのだ。戦争に反対するとは、戦争を選択肢から外すこと。だから、もう一度言う。武藤さん。あなたがどんな「バカ野郎」であっても、僕はあなたが戦場に行くことには反対だ。行かないでほしい。安倍総理も、あなたがどんなに恐ろしい人でも戦場に行つてはいけない。「まず、総理から前線へ」などと挑発されても乗つてはならない。なぜならば、僕は戦争に反対だからだ。戦争そのものが悪であり、人殺しであるからだ。あなたが誰かを殺すところも、あなたが誰かに殺されるところも、僕は見たくない。それがたとえ戦争反対のためのロジックであったとしても、戦場に行くことを前提に語らないことが大切だと思つた。
「あなたは、殺してはならない」(聖書、十戒より)。明瞭である。これは法律ではない。神の叫びだ。愛した人間たちが殺されることに神は耐えられない。「君、死に給うことなかれ」。弟を思うと謝野晶子は、そう嘆いた。同じ思いで神は叫んでおられる。「私の愛する人々を殺すな! 殺されないで!」。(キリスト教会は、この言葉をキチンと守つてこなかったのだが...)。
だから戦争などもつてのほかだ。武藤さんも安倍さんも、そしてSEALDs面々も、さらに大学に行けなかった若者たちも、すべて神が愛しておられる大切な人なのだ。誰ひとり死んでほしくない。誰ひとり前線に行つてほしくない。誰も殺されてはいけない。殺してはならない。戦争に反対するとは、この神の思いを大前提にすることだと思つたが、どうか。



日本レコード大賞アジア音楽賞の 沢 知恵さん 音楽の秋、こころに響くうたのメッセージをともに



さわ ともえ
沢 知恵

1971年生まれ。日本、韓国、アメリカで育ち、3歳からピアノを弾く。東京芸術大学楽理科在学中に歌手デビュー。〈谷川俊太郎をうたう〉など27枚のアルバムを発表。第40回日本レコード大賞アジア音楽賞受賞。「日本語をもっと美しくうたう歌手」と評され、圧倒的迫力のパフォーマンスで、老若男女に支持されている。東京での季節公演をはじめ、ハンセン病療養所、災害被災地、少年院などでも活動。おもなテレビ出演「ハートネットTV」「徹子の部屋」「題名のない音楽会」など。日本キリスト教団 岡山教会員。

荒生田塾

第二回 荒生田塾コンサート

10月24日(土) 午後2時より (1時半開場)

沢 知恵 ピアノ弾き語りコンサート 「かかわらなければ」

会場/東八幡キリスト教会 北九州市八幡東区荒生田 2-1-40

【おもな曲目】
アメイジング・グレイス
こころ
満月の夕
胸の泉に(かかわらなければ)
故郷 他

大人 1,500円
小中学生 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください

予約・問い合わせ
093-651-6669

詳しくは教会ホームページにて

※当日変更の可能性あり

※席に限りがあるので、お早めにご予約ください。

※座席指定はありません。当日の先着順になります。

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。



7月8日発売
ニューアルバム
「われ問う」

10月25日(日) 午前10時半より キリスト教講演会(礼拝)

講師: 奥田知志牧師(当教会牧師)

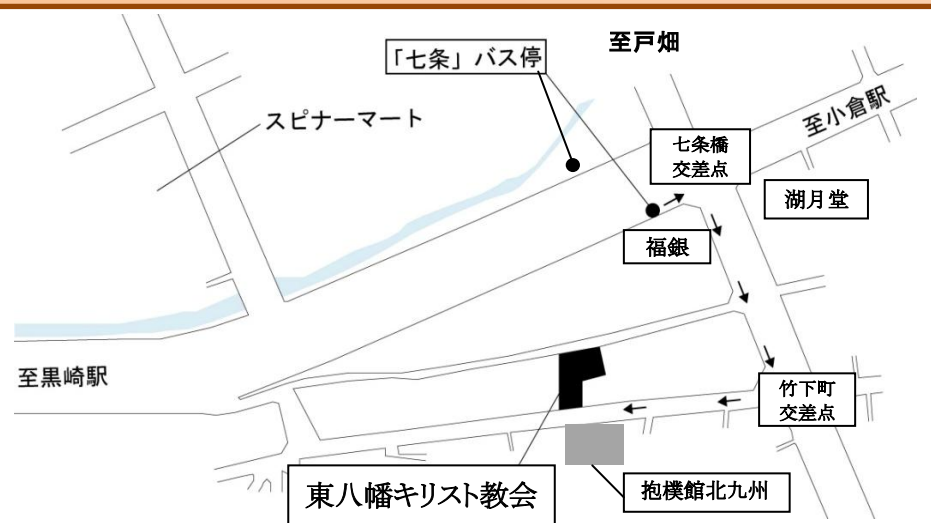
※この日も沢さんが1曲歌ってくださいます!

教会バザー 11月23日(月) 午前10時半~

収益金の一部は、東日本震災復興支援、社会支援活動を行っている団体へ寄付されます。皆様のお越しをお待ちしています!

品物提供のお願い 10月27日 受付開始

新品もしくは、それに準ずるものに限らせていただいております(古本やおもちゃは除く)。お電話ください。取りに伺います。093-651-6669



〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田 2丁目 1番 40
電話/FAX (093) 651-6669 ホームページ: [東八幡キリスト教会](http://www.higashiyahata.ch) 検索
Email: higashiyahata.ch.1955@nifty.com
牧 師: 奥田 知志 石橋 誠一
協働牧師: 藤田 英彦 森松 長生

定例集会

- ・主日礼拝(一般の部)
毎週日曜午前10時30分より
- ・子ども礼拝(小学生以下の部)
毎週日曜午前9時30分
- ・少年少女会(中高生会)
毎週日曜日礼拝後
- ・聖書の学びとお祈りの会
夜の部 毎週水曜日午後7時30分
昼の部 毎月第3水曜日午後1時

牧師へのご相談 随時受付中!

牧師へのご相談を受け付けています。お困りのこと、誰にも相談できないこと、何でもかまいません。一人で悩まずにご相談ください。ともかく一緒に悩みましょう! 牧師には守秘義務がありますので安心して相談ください。

電話 093-651-6669